

お世話になっています
学校応援団紹介 第3弾



1年生活科「昔あそび」

1月26日(木)、お二人のゲストティーチャーをお招きして、昔あそび体験をしました。

昔遊びの先生は、太田さんと永井さん。主にお手玉を教えていただきました。

初めはのうちは難しいと言っていた子どもたちですが、練習しているうちに上手にできるようになり、みんな夢中になって遊んでいました。地域の先生方のおかげです。ありがとうございました。



前にもやったことがあったし、教えてもらったので、お手玉もすぐできました。上手にできるようになったのでよかったです。(1年女子)

大成小学校では、地域の皆さんが学校を支える活動が活発に行われてい
す。地域が様々な形で学校と連携・協働し、子どもたちの成長を支援してい
くことにより、「地域とともにある学校」が作られ、地域を愛する子どもが育つ
とともに地域の活性化も図られることとなります。

「学校×地域の協働」
に向けて動き出しています！

コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）Q & A（第5回）

■Q1 他の学校とどこが違いますか？

A1：学校運営への参画が仕組みとして保障されていることが違いです！

コミュニティ・スクールを進めるねらいは、学校と地域が力を合わせることによって、互いに信頼し合い、それぞれの立場で主体的に地域の子どもの成長を支えていくことです。そんな学校づくりのために、学校運営協議会を通して、学校運営に保護者や地域の皆さんが参画する仕組みが保障されています。

■Q2 「学校評議員制度」との違いは何ですか？

A2：校長の求めによらず意見を述べる一定の権限を有しています！

「学校評議員制度」は、学校評議員が校長の求めに応じて、学校運営に関する意見を聞くための制度です。学校評議員が個人としての立場で意見を述べるもので、校長や教育委員会の学校運営に関して直接関与したり、拘束力のある決定をするものではありません。

それに対して「学校運営協議会」は、学校の教育目標・ビジョンを共有するとともに、校長の求めによらず意見を述べる一定の権限を有する合議制の機関です。校長は学校運営協議会が承認する基本的な方針に従って学校運営を実施します。さらに委員の当事者意識の向上、役割分担の明確化により、地域ぐるみの教育の実現に近付くことが期待できます。

三中学区を一つの地域(学園)と見なし学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たし子どもたちの9年間の育ちを支えていこう！
 三中学区共通行動目標 『3つの「あ」』 ～あいさつ・あきらめない・あたたかい心～

中学校の先生から勉強を教えてくださいました

～ 三中学区小中一貫教育システム 出前授業 ～



2月10日(金)、三中の吉野晴久先生と下山美咲先生がお出でになり、6年生にそれぞれ体育と数学の授業をしてくださいました。初めての柔道には興味津々。ゲームを取り入れた数学の授業にも楽しく取り組んでいました。



痛かったけど
すごかった！

初めてだったので、痛いし、すごいし、ちょっとびっくりな体験でした。
 <6年女子>

簡単で楽しかった！

「+ (プラス)」、「- (マイナス)」の勉強をしました。意外と簡単で楽しかったです。中学校への意欲が増しました。
 <6年男子>



専門家の力も借りています！

～ 体育授業支援 ～

2・3年生の体育(マット運動・跳び箱運動)では、NPO法人「スポネット弘前」の体育支援事業を利用して、体操教室アスリートクラブのスタッフの方々に実技指導を手伝ってもらっています。また全校のスキー学習にもスポネット弘前から講師を招いています。専門家の力も借り、充実した授業が行われています。



田中宏輝さん(左)と鹿内葵さん(右)
 NPO法人スポネット弘前/体操教室アスリートクラブ スタッフ

「大成小学校で指導しての感想は？」
 田中 子どもたちが素直でびつくり。学習のルールもしっかりしている。今回の事業を通して目指していることは？
 田中 運動の楽しさを伝えたい。できるようになることを通して楽しさを分かっしてほしい。

鹿内 生涯にわたって運動を続けてほしい。子どものうちに運動嫌いにならないでほしい。
 「学校との連携について一言」
 田中 やる気を引き出す指導を心がけ、学校とともに運動が好きな子をつくりたい。
 鹿内 少しでも先生方の力になりました。

スタッフの方
 インタビューしました！

「大成コミュニティ・スクール通信」は大成小学校ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/school/taisei/index.html>

是非、大成小学校のホームページをチェックしてください。